

事業報告書

事業名	令和5年度精神保健福祉士リーダー研修助成事業
事業の実施状況	<p>1. 精神保健福祉士等のスーパービジョンを担うリーダーの養成</p> <p>1) 認定スーパーバイザー養成研修（第19回）</p> <p>＜第19回基礎編＞</p> <p>〔日 程〕2023年8月4日（金）～6日（日）</p> <p>〔方 法〕オンライン（Zoom ミーティング）</p> <p>〔受講者数〕15人</p> <p>＜第19回実践編における研修＞</p> <p>○対面研修</p> <p>〔日 程〕2024年2月11日（日）</p> <p>〔会 場〕リロの会議室 飯田橋（東京都）</p> <p>〔受講者数〕13人</p> <p>○実践編における研修の代替課題</p> <p>〔追加課題〕「中間レポートの審査結果を受けて作成したレポート（参加予定であった班の受講者分）」「演習での受講者の発言内容」を読んだうえでレポート作成</p> <p>〔テ ー マ〕自身のスーパービジョン実践の検討、および今後のスーパービジョンに臨む課題</p> <p>〔個別面談〕2024年2月27日（火）</p> <p>〔方 法〕オンライン（Zoom ミーティング）</p> <p>〔受講者数〕1人（実践編における研修欠席者）</p> <p>2) 認定スーパーバイザー養成研修（第18回）</p> <p>＜実践編＞</p> <p>〔実践期間〕2022年8月10日（水）～2023年6月4日（日）</p> <p>〔査読期間〕2023年6月6日（火）～2023年7月26日（水）</p> <p>〔受講者数〕13人</p> <p>①合格者：8人</p> <p>②保留後合格者：3人</p> <p>〔対応期間〕2023年7月27日（木）～2023年8月30日（水）</p> <p>＜追加課題＞</p> <p>オンライン個別面談（8月3日（木））及び追加レポート提出（1人）</p> <p>オンライン個別面談（8月3日（木）、8日（火））（2人）</p> <p>③保留後再試行者：1人</p> <p>〔対応期間〕2023年7月27日（木）～2024年8月2日（金）予定</p> <p>＜追加課題＞</p> <p>ハイブリッド個別面談（8月2日（水））及び実践編の再試行、加えて2024年度基礎編「スーパービジョン概論」再受講及び個別面談実施予定（1人）</p>

3) 認定スーパーバイザー更新研修

<第20回>

[日 程] 2023年10月1日(日)

[会 場] 国際ファッションセンター(東京都)

[受講者数] 6人

<第21回>

[日 程] 2023年12月9日(土)

[方 法] オンライン(Zoomミーティング)

[受講者数] 12人

4) スーパービジョンを担うリーダーの養成並びに普及啓発事業

各地で認定スーパーバイザーによるスーパービジョンを展開し、拡大していくために、第19回養成研修修了者への2021年度作成の動画「グループスーパービジョン(GSV)」の視聴を推奨した。また、すべての認定スーパーバイザーを対象に2022年度に本助成事業にて作成した「ブロック・都道府県においてオンラインによるグループスーパービジョンを実施するための手引き(以下、手引き)」を活用し、以下のとおり2回にわたり「認定スーパーバイザー向けグループスーパービジョン勉強会・交流会(以下、勉強会・交流会)」を開催した。勉強会・交流会でグループスーパービジョンの場면을体験してもらえるように、予め作成したグループスーパービジョンセッション動画も併せて放映した。

①動画「グループスーパービジョン」(講師:龍谷大学名誉教授 荒田寛氏)

[視聴回数] 8回

②グループスーパービジョンセッション動画撮影

[撮影日] 2023年7月26日(水)

[配役] スーパーバイザー役1人、スーパーバイザー役5人

[放映時間] 31分

③認定スーパーバイザー向けグループスーパービジョン勉強会・交流会

<第1回>

[日程] 2023年8月27日(日)

[方法] オンライン(Zoomミーティング)

[参加者数] 23人(東海・北陸/近畿/九州・沖縄)

<第2回>

[日程] 2023年9月3日(日)

[方法] オンライン(Zoomミーティング)

[参加者数] 24人(北海道/東北/関東・甲信越/中国/四国)

5) ブロック別グループスーパービジョン

①ブロック別グループスーパービジョン

<九州・沖縄ブロック>

九州・沖縄ブロックの認定スーパーバイザー3人と委員2人で構成する運営委員会を3回開催し、グループスーパービジョン体験会として、次の通り実施した。

[GSVオリエンテーション] 2024年2月19日(月)

[GSV] 2024年3月5日(火)

[参加者] スーパーバイザー：8人

スーパーバイザー：4人、事務担当：1人

[運営委員会開催回数] 3回

<関東・甲信越ブロック>

関東・甲信越ブロックの認定スーパーバイザー2名と委員2名により、グループスーパービジョン実施に向けた打合せを1回行った。

<東海・北陸ブロック>

東海・北陸ブロックの認定スーパーバイザー9人と委員3人により、グループスーパービジョン実施に向けた打合せを1回行った。

②「ブロック・都道府県においてオンラインによるグループスーパービジョンを実施するための手引き」改訂

手引きを活用したブロック別グループスーパービジョン体験会や勉強会・交流会において、認定スーパーバイザーからの本手引きに対する意見などの聞き取りを踏まえて、第2版への改訂作業を行った。

6) 研修の企画運営等に係る委員会の開催

①認定スーパーバイザー養成委員会の開催(2回)

認定スーパーバイザー養成研修及び認定スーパーバイザー更新研修の運営や査読等にあり方、ブロック別グループスーパービジョン実施、勉強会・交流会実施等の検討を行うため、オンラインと対面により開催した。

②グループスーパービジョン検討小委員会の開催(4回)

手引きを活用したブロック別グループスーパービジョンの実施や、勉強会・交流会のためのグループスーパービジョンセッションの動画の作成、勉強会・交流会の実施のため、オンラインにより開催した。

③認定スーパーバイザー更新研修検討小委員会の開催(3回)

今後の全国でのスーパービジョン実践の拡大を念頭に、認定スーパーバイザーの担う役割なども考慮しながら認定スーパーバイザー更新研修のプログラム修正のため、オンラインにより開催した。

7) 査読委員会の開催

第18回実践編において、中間レポート査読3回、最終レポート査読3回をオンラインにより実施した。

8) 認定スーパーバイザー登録者数

128人(2024年3月31日現在)

2. 成年後見活動に従事し、または制度利用支援を行うリーダーの養成

1) 「認定成年後見人養成研修(入門編)」(2回)の開催

<第1回>

[日程] 事前視聴：2023年5月12日(金)～6月4日(日)

オンライン研修：2023年6月25日(日)

	<p>[方法] オンライン (Zoom ミーティング) [受講者数] 63 人 (構成員 62 人・非構成員 1 人) ※内キャンセル 3 人 <第 2 回> [日程] 事前視聴: 2023 年 8 月 2 日 (水) ~25 日 (金) オンライン研修: 2023 年 9 月 10 日 (日) [方法] オンライン (Zoom ミーティング) [受講者数] 55 人 (構成員 55 人・非構成員 0 人) ※内キャンセル 5 人</p> <p>2) 「認定成年後見人養成研修 (応用・実務編)」の開催 [日程] 事前視聴: 2023 年 12 月 19 日 (火) ~2024 年 1 月 7 日 (日) オンライン研修: 2024 年 1 月 28 日 (日) [方法] オンライン (Zoom ミーティング) [受講者数] 59 人 ※内キャンセル 3 人</p> <p>3) 「クローバー登録者継続研修」の開催 (2 回) <第 21 回> [日程] 2023 年 10 月 7 日 (土) [方法] オンライン (Zoom ミーティング) [受講者数] 49 人 <第 22 回> [日程] 2023 年 11 月 26 日 (日) [方法] オンライン (Zoom ミーティング) [受講者数] 49 人</p> <p>4) クローバー登録者 (認定成年後見人) 学習課題 (ネット学習) [実施期間] 2023 年 12 月 22 日 (金) ~2024 年 2 月 9 日 (金) [受講者数] 153 人 [課題] ①講義動画 「とちぎクローバーチーム活動報告 (60 分)」 「パネルディスカッション (50 分)」 ②学習問題 (全 10 全問正解で合格) [成年後見人養成研修・動画講義聴講者数] 23 人</p> <p>5) 研修の企画運営に係る委員会の開催 養成研修は、2021 年度に実施した受講ニーズ調査に基づき、本年度も昨年同様の内容と回数で実施した。 継続研修は、地域で精神保健福祉士が主導的に行動することを目指し、成年後見の地域組織化活動 (インターグループワーク) を考える内容とした。多彩な活動を展開している栃木県精神保健福祉士協会 (クローバーとちぎ) より講師を迎え、講義とパネルディスカッションを行った。 養成・継続ともに企画運営は年 2 回のクローバー運営委員会等で行った。また成年後見人としての経験のある登録者を演習のサポート役に起用し、多くの登録者が後進育成に参画する機会を設けた。</p>
--	--

	<p>6) クローバー登録者数 242人 (2024年3月31日現在)</p>
<p>事業の成果</p>	<p>全国（都道府県）において、精神保健福祉士として精神障害のある者をはじめとしたメンタルヘルス課題を有する者に対して、適切な相談援助活動等が担えるリーダーの養成を目的に次の2種類の研修事業を実施した。</p> <p>なお、オンライン形式は、感染症対策による運営方法として参加者にも浸透しており、かつ利便性も高いことから継続するとともに、一部対面研修も再開することとした。</p> <p>1. 若手・新人精神保健福祉士等のスーパービジョンを担うリーダーの養成</p> <p>精神保健福祉士は、1997年12月の精神保健福祉士法制定から20数年が経過し、若年、または実践経験の浅い精神保健福祉士に対して、全国各地で個別あるいはグループによるスーパービジョンの必要性が、年々高まっている。こうした現状を踏まえ、今後一層のグループスーパービジョンの活用を念頭に置き、昨年度作成した「ブロック・都道府県においてオンラインによるGSVを実施するための手引き」を使って、グループスーパービジョン体験会の実施につながったことは、スーパービジョンの活用促進の具現化の1つといえる。</p> <p>本研修によるスーパーバイザーの養成並びに更新は、スーパービジョン活用の定着化、認定スーパーバイザーへの更なる学びの機会提供に必要不可欠である。スーパービジョンは、精神保健福祉士の専門的力量的向上に繋がるが、個別、グループ、対面、オンラインといった様々な形態のスーパービジョンを展開していくことが一層期待されており、ICTを活用したスーパービジョンの手引きを活用したグループスーパービジョン実施に向けた取り組み、本事業によるリーダー養成の取り組みは、スーパービジョンを活用した基本的な人材育成体制を盤石化するための一翼を担っていると考える。</p> <p>2. 成年後見活動に従事し、または制度利用支援を行うリーダーの養成</p> <p>養成研修は2回とも意思決定支援に関する講義科目への関心が高かった。1回目は実務経験5年以下の精神保健福祉士の参加が25%を占め、2回目は15年未満の実務経験者が多く参加した。このことから若い世代を中心に意思決定支援の理解を深めるため養成研修の受講を志望する傾向が伺えた。</p> <p>継続研修は先駆的な地域の組織化活動をテーマにした。受講者は「地域間格差」「自分たちの働く地域でどのように活動すれば良いのか」といった問題意識を切実に抱いた人が多かった。地域の組織化活動の活性化に、本協会（クローバー）や都道府県精神保健福祉士協会に対する要望やアイデアも多く寄せられた。</p> <p>養成・継続ともに、登録者による演習サポート役の起用に対しては「論点が脱線しない」「馴染みの薄いテーマにも実体験を通して理解の促進を支えてくれる」などの高評価が得られた。</p>